

令和 6 年度環境放射線等測定結果

(島根原子力発電所及び人形峠環境技術センター周辺)

令和 7 年 1 0 月
鳥 取 県

ま え が き

鳥取県では、「令和6年度環境放射線等測定計画（島根原子力発電所及び人形峠環境技術センター周辺）」に基づき、原子力施設周辺の環境放射線監視を実施しています。

本報告書は、令和6年4月から令和7年3月までの監視結果について、鳥取県原子力安全顧問における確認（令和7年6月実施鳥取県原子力安全顧問会議）を経て、とりまとめたものです。

目 次

まえがき

令和6年度平常時モニタリング測定結果

ページ

【Ⅰ 島根原子力発電所周辺】

1	目的区分	1
2	測定概要	1
(1)	概要	1
(2)	実施機関	1
(3)	実施内容	1
(4)	測定結果の評価方法	1
3	令和6年度測定結果	6
(1)	測定結果概要	6
(2)	測定項目別の結果	14
4	令和7年度の平常の変動幅の設定について	27
(1)	空間放射線	27
(2)	大気浮遊じん全 α 及び全 β 放射能の連続測定	28
(3)	環境試料中の放射性核種	29
(4)	令和5年度までに測定終了した項目【参考】	31

【Ⅱ 人形峠環境技術センター周辺】

1	目的区分	32
2	測定概要	32
(1)	概要	32
(2)	実施機関	32
(3)	実施内容	32
(4)	測定結果の評価方法	32
3	令和6年度測定結果	36
(1)	測定結果概要	36
(2)	測定項目別の結果	39
4	令和7年度の平常の変動幅の設定について	46
(1)	空間放射線	46
(2)	大気浮遊じん全 α 放射能、大気中フッ素の連続測定（固定型モニタリングポスト）	46
(3)	環境試料中の放射性核種	47
(4)	令和5年度までに測定終了した項目【参考】	48

【Ⅲ 参考資料】

1	島根原子力発電所の状況	52
(1)	島根原子力発電所の施設状況	52
(2)	島根原子力発電所の運転実績	52
(3)	島根原子力発電所における放射性廃棄物放出実績	53
2	人形峠環境技術センターの状況	54
(1)	人形峠環境技術センターの廃止措置状況	55
(2)	施設の排気・排水の監視測定結果	56
3	可搬型モニタリングポストの稼働・通信訓練の結果	57
(1)	概要	57
(2)	結果概要	57

4	島根原子力発電所周辺における積算線量の経時変化	59
5	島根原子力発電所周辺における環境試料中の人工放射性核種の経時変化	60
(1)	セシウム 137	60
(2)	トリチウム	64
(3)	ストロンチウム 90	64
6	人形峠環境技術センター周辺における積算線量の経時変化	66
7	人形峠環境技術センター周辺における環境試料中の放射性核種の経時変化	67
(1)	ウラン 235	67
(2)	ウラン 238	68
8	環境試料中の人工放射性核種による預託実効線量（成人）	70
9	環境試料中の放射性核種の検出下限（定量下限）値	71
(1)	島根原子力発電所周辺	71
(2)	人形峠環境技術センター周辺	76
10	気象測定結果	77
(1)	島根原子力発電所周辺	77
(2)	人形峠環境技術センター周辺	84
11	平常の変動幅の上限を超過した場合の要因調査等の方法	89
12	用語集	92

令和6年度平常時モニタリング測定結果

【Ⅰ 島根原子力発電所周辺】

1 目的区分

鳥取県における島根原子力発電所周辺の環境放射線測定は、「平常時モニタリングについて（原子力災害対策指針補足参考資料）」（以下「補足参考資料（平常時）」という。）に示す平常時モニタリングの目的のうち、次に掲げる目的において実施する。

なお、補足参考資料（平常時）の最低限実施が必要な項目には該当しないが、環境中の経時変化を把握する上で参考となる項目又は測定技術の保持が必要と考えられる項目については、「（参考）」として測定を継続する。

④ 緊急事態が発生した場合への平常時からの備え

（参考）環境中の経時変化の把握又は測定技術の保持

2 測定概要

（1）概要

境港市及び米子市に設置している固定型及び可搬型モニタリングポスト、蛍光ガラス線量計によって空間放射線の測定を行うとともに、さらに固定型モニタリングポストでは、大気浮遊じんの全 α 及び全 β 放射能濃度測定を行った。また、環境試料中の放射性核種濃度の変動を把握するために、大気浮遊じん、降下物、陸水、土壌、植物等の核種分析を行った。

（2）実施機関

鳥取県原子力環境センター

民間測定事業者（委託分析）

（3）実施内容

平常時モニタリングは、令和6年度環境放射線等測定計画に基づき実施した。当該計画の主な内容は、以下のとおりである。

ア 測定計画

表Ⅰ－２－１のとおり。

イ 測定地点

図Ⅰ－２－１、図Ⅰ－２－２のとおり。

ウ 測定方法及び測定機器

表Ⅰ－２－２のとおり。

（4）測定結果の評価方法

環境放射線等測定結果の評価は、測定項目及び地点ごとに、詳細調査を開始するための閾値として過去の測定結果より「平常の変動幅」を設定し、四半期ごとに取りまとめた測定結果が「平常の変動幅」を超過した場合には、原子力施設の影響、気象や自然放射性核種等の影響などについて要因の調査を行う。

なお、「平常の変動幅」を設定するためのデータの蓄積が少ないものについては、本調査結果に加え、全国の調査結果等を参考に評価を行う。

表 I-2-1 令和6年度環境放射線等測定計画（島根原子力発電所周辺）

1 空間放射線

項目区分	目的 区分	測定地点	測定 地点	測定期間	測定 件数	測定機器	測定方法
空間放射 線量率	④	境港市上道町(境港局) 米子市河崎(米子局)	2	連続測定	—	NaI (TI) シンチレーション検出器 (固定型モニタリングポスト)	放射能測定法シリーズ「連続モニタによる環 境 γ 線測定法」
	④	境港市外江町(外江公民館) 境港市竹内町(余子公民館) 境港市財ノ木町(中浜公民館) 米子市和田町(和田公民館) 米子市彦名町(彦名公民館) 米子市大篠津町(大篠津公民館) 米子市夜見町(夜見公民館)	7	連続測定	—	NaI (TI) シンチレーション検出器 (可搬型モニタリングポスト)	放射能測定法シリーズ「連続モニタによる環 境 γ 線測定法」
積算線量	(参考)	境港市上道町(境港局) 米子市河崎(米子局) 境港市外江町(外江公民館) 境港市渡町(渡公民館) 境港市竹内町(余子公民館) 境港市財ノ木町(中浜公民館) 米子市和田町(和田公民館) 米子市大崎(崎津公民館) 米子市彦名町(彦名公民館)	9	4～6 月 7～9 月 10～12 月 1～3 月	36	蛍光ガラス線量計	放射能測定法シリーズ「蛍光ガラス線量計を 用いた環境 γ 線測定法」

※ 7カ所に設置している可搬型モニタリングポストは、緊急時における OIL 判断に使用するとともに、放射線に係る理解向上など普及啓発と広報を目的に、平常時から空間放射線量率の測定・データ公開を行っている。

2 大気浮遊じん全 α 及び全 β 放射能

項目区分	目的 区分	測定地点	測定 地点	測定期間	測定 件数	測定機器	測定方法
大気浮遊じん 放射能	(参考)	境港市上道町(境港局) 米子市河崎(米子局)	2	連続測定	—	ZnS (Ag) + プラスチックシンチレーション検 出器 (固定型モニタリングポスト)	放射線測定法シリーズ「全 β 放射能測定 法」 JISZ4316「放射性ダストモニタ」

3 環境試料中の放射性核種分析

項目区分	試料	部位	目的 区分	採取地点	採取頻度		測定項目/件数			測定機器	測定方法
					頻度	採取月	γ線 核種	H-3	Sr-90		
大気	浮遊じん	—	(参考)	境港市上道町 (境港局)	毎月	毎月	12			γ線放出核種： 放射能測定法シリーズ「ゲルマニウム半導体検出器 によるγ線スペクトロメトリー」	γ線放出核種： 放射能測定法シリーズ「ゲルマニウム半導体検出器 によるγ線スペクトロメトリー」
				米子市河崎 (米子局)			12				
降下物	降下物	—	(参考)	境港市上道町 (境港局)	毎月	毎月	12			γ線放出核種： 放射能測定法シリーズ「ゲルマニウム半導体検出器 によるγ線スペクトロメトリー」	γ線放出核種： 放射能測定法シリーズ「ゲルマニウム半導体検出器 によるγ線スペクトロメトリー」
				米子市河崎 (米子局)			12				
陸水	水道水	蛇口水	④	境港市上道町	3年毎 年2回	R8				γ線放出核種： 放射能測定法シリーズ「ゲルマニウム半導体検出器 によるγ線スペクトロメトリー」 H-3： 放射能測定法シリーズ「トリチウム分析法」 Sr-90： 放射能測定法シリーズ「放射性ストロンチウム分析 法」	γ線放出核種： 放射能測定法シリーズ「ゲルマニウム半導体検出器 によるγ線スペクトロメトリー」 H-3： 放射能測定法シリーズ「トリチウム分析法」 Sr-90： 放射能測定法シリーズ「放射性ストロンチウム分析 法」
				米子市河崎			5,11月	2	2		
		米子市福市	R7								
原水	④										
植物	松葉	二年葉	(参考)	境港市幸神町	年1回	10月	1		γ線放出核種： 放射能測定法シリーズ「ゲルマニウム半導体検出器 によるγ線スペクトロメトリー」	γ線放出核種： 放射能測定法シリーズ「ゲルマニウム半導体検出器 によるγ線スペクトロメトリー」	
				米子市夜見町	年1回	10月	1				
土壌	公園 グラウンド	表層	④	境港市馬場崎町	2年毎 年1回	R7			γ線放出核種： 放射能測定法シリーズ「ゲルマニウム半導体検出器 によるγ線スペクトロメトリー」 Sr-90： 放射能測定法シリーズ「放射性ストロンチウム分析 法」	γ線放出核種： 放射能測定法シリーズ「ゲルマニウム半導体検出器 によるγ線スペクトロメトリー」 Sr-90： 放射能測定法シリーズ「放射性ストロンチウム分析 法」	
			④	米子市河崎			7月	1			1
海水	海水	表層水	④ (参考)	境港市昭和町	2年毎 年2回	R7			γ線放出核種： 放射能測定法シリーズ「ゲルマニウム半導体検出器 によるγ線スペクトロメトリー」 H-3： 放射能測定法シリーズ「トリチウム分析法」	γ線放出核種： 放射能測定法シリーズ「ゲルマニウム半導体検出器 によるγ線スペクトロメトリー」 H-3： 放射能測定法シリーズ「トリチウム分析法」	
				米子市大篠津町			5,11月	2			2
農産物	米	精米	(参考)	米子市夜見町	年1回	10月	1		γ線放出核種： 放射能測定法シリーズ「ゲルマニウム半導体検出器 によるγ線スペクトロメトリー」	γ線放出核種： 放射能測定法シリーズ「ゲルマニウム半導体検出器 によるγ線スペクトロメトリー」	
		白ネギ	(参考)	境港市中海干拓地	年1回	12月	1				
海産生物	ダイコン	根	(参考)	境港市中海干拓地	年1回	12月	1		γ線放出核種： 放射能測定法シリーズ「ゲルマニウム半導体検出器 によるγ線スペクトロメトリー」	γ線放出核種： 放射能測定法シリーズ「ゲルマニウム半導体検出器 によるγ線スペクトロメトリー」	
	ワカメ	可食部	(参考)	境港市近海	年1回	4月	1				
	イワギ	身	(参考)	境港市近海	年1回	7月	1				
	セイゴ	身	(参考)	境港市近海	年1回	1月	1				
	ナマコ	身	(参考)	境港市近海	年1回	3月	1				
合計							62	4	3		

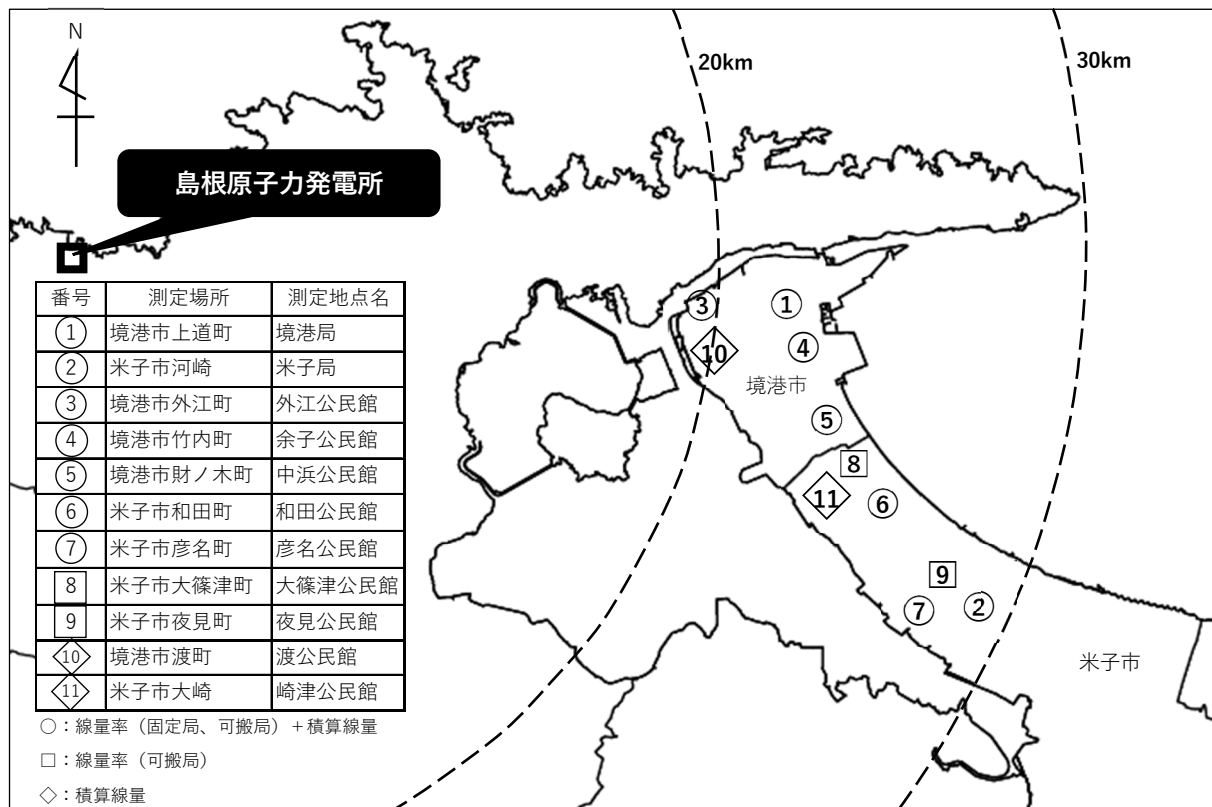


図 I - 2 - 1 空間放射線量率測定地点

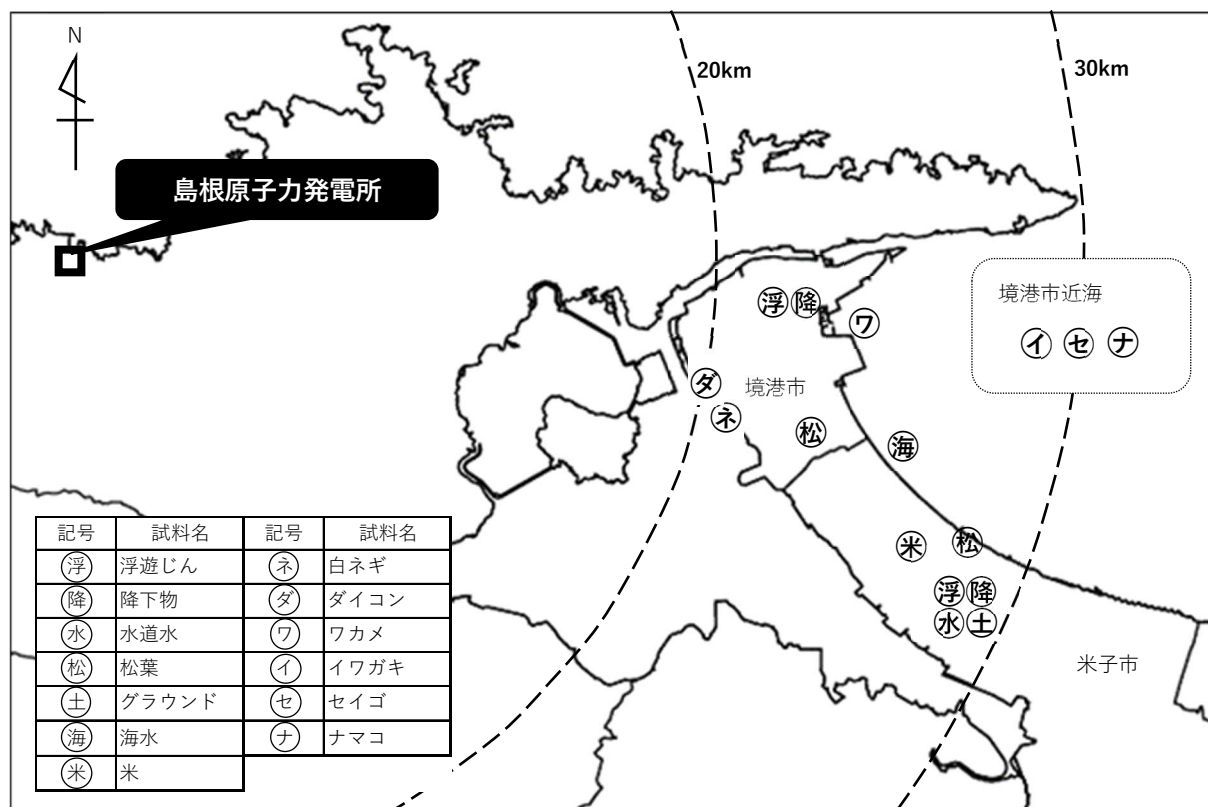


図 I - 2 - 2 環境試料採取地点

表 I - 2 - 2 測定方法及び測定機器

調査項目			測定方法	測定機器
空間放射線	空間放射線量率	NaI 放射線量率測定装置	連続測定 放射能測定法シリーズ「連続モニタによる環境 γ 線測定法」	NaI(Tl)シンチレーション検出器 (固定型モニタリングポスト) 日立製作所製 MSR-R54-21545R1 (可搬型モニタリングポスト) 富士電機製 NAH37401-B-BY2YY-S 日立製作所製 MAR-1561BR3
	積算線量	積算線量計	3ヶ月間毎の連続測定 放射能測定法シリーズ「蛍光ガラス線量計を用いた環境 γ 線測定法」	蛍光ガラス線量計(RPLD) 千代田テクノル製 ガラス線量計素子
大気	浮遊じん放射能	放射性ダストモニタ	連続測定 放射線測定法シリーズ「全 β 放射能測定法」JISZ4316 「放射性ダストモニタ」 (200 L/分で3時間集じん後、3時間測定)	ZnS(Ag)+プラスチックシンチレーション検出器 日立製作所製 DSM-RC52-20089-1
環境試料中放射性核種	浮遊じん	捕集フィルター	γ 線スペクトロメトリー 放射能測定法シリーズ「ゲルマニウム半導体検出器による γ 線スペクトロメトリー」	ゲルマニウム半導体検出器 セイコー・イージーアンドジー製 GEM30-70
	降下物	濃縮物		
	陸水	水試料/濃縮物		
	植物	灰化物		
	土壌	生試料/風乾物		
	海水	吸着物		
	農産物	生試料/		
	海産生物	灰化物 ^{※1}		
	陸水	水試料	トリチウム分析	低バックグラウンド液体シンチレーション測定装置 (委託分析により実施)
	海水		放射能測定法シリーズ「トリチウム分析法」	
	陸水	化学処理後の沈殿物	放射化学分析	低バックグラウンドベータ線測定装置 日立製作所製 LBC-4501
	土壌		放射能測定法シリーズ「放射性ストロンチウム分析法」	

※1 生試料を測定後、灰化处理して再度測定

3 令和6年度測定結果

(1) 測定結果概要

令和6年度の島根原子力発電所に係る平常時モニタリング結果については、概ね過年度の測定結果と同レベルであり、原子力施設からの影響は認められなかった。

ア 空間放射線

(ア) 空間放射線量率連続測定（固定型モニタリングポスト）

固定型モニタリングポスト2地点ともに平常の変動幅の範囲内であった。

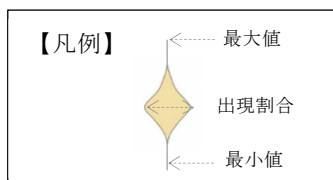
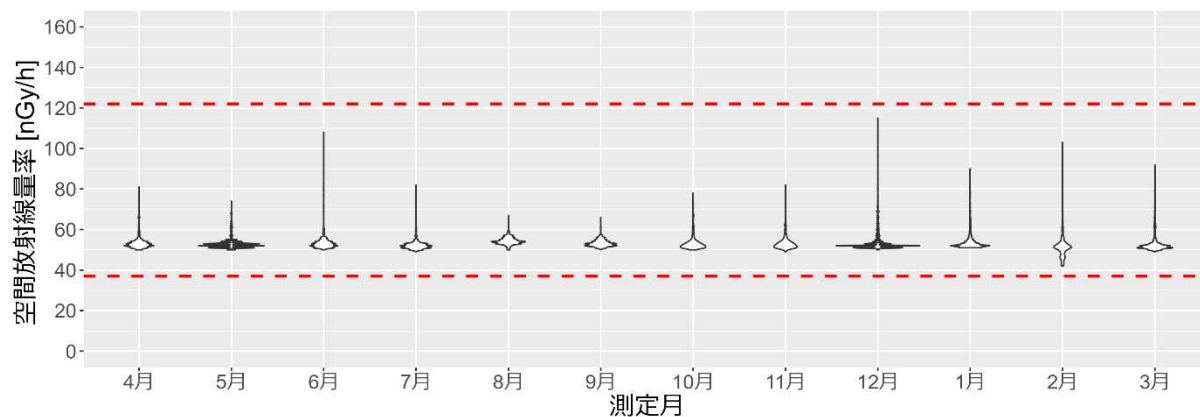
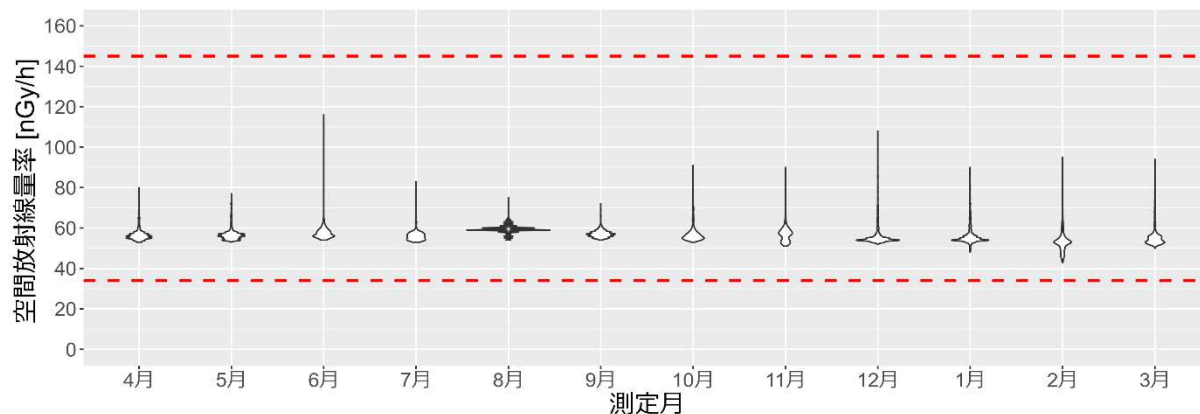
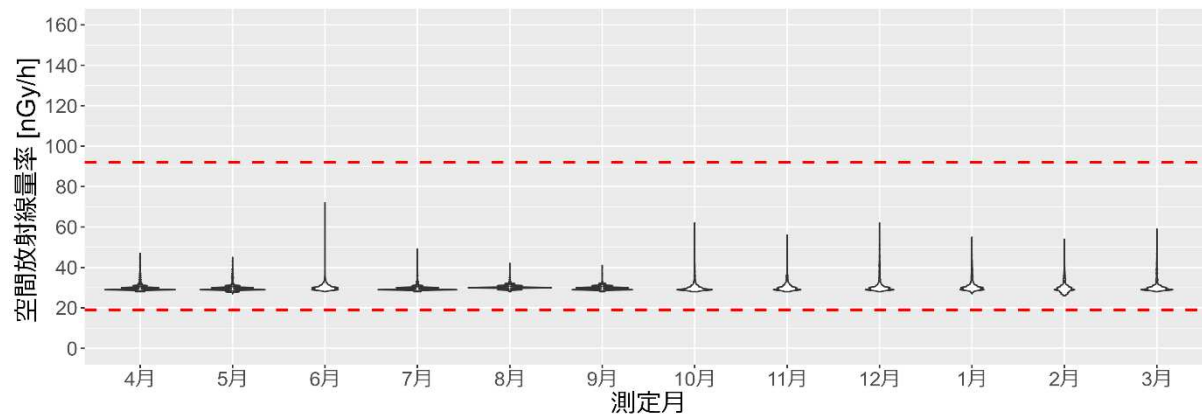
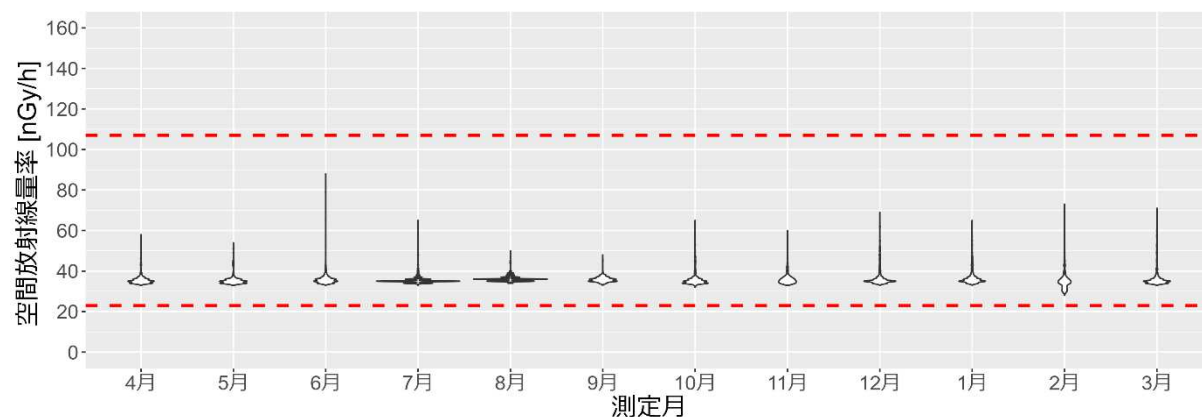


図 I - 3 - 1 a 空間放射線量率連続測定結果（固定型モニタリングポスト）

(参考) 緊急時の可搬型モニタリングポスト7地点の空間放射線量率連続測定結果は、
 全て平常の変動幅の範囲内であった。



外江公民館



余子公民館

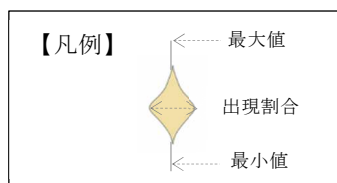
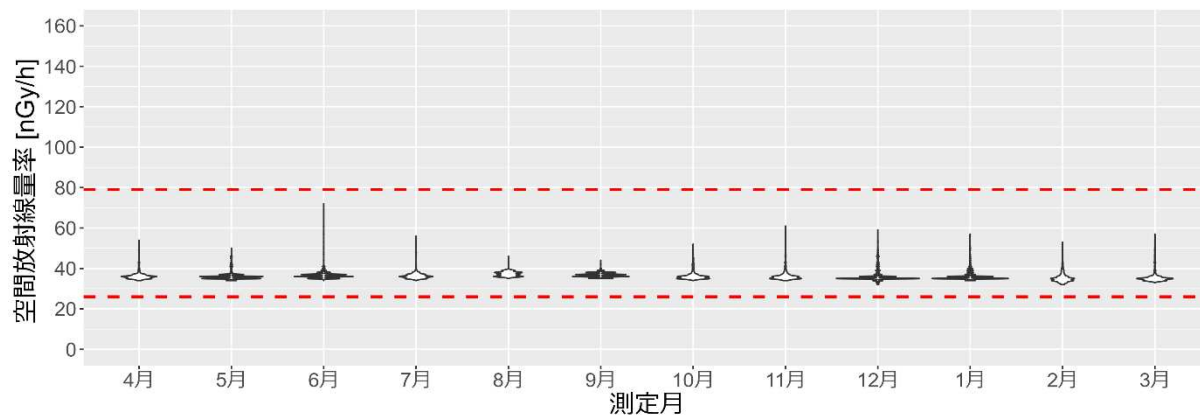
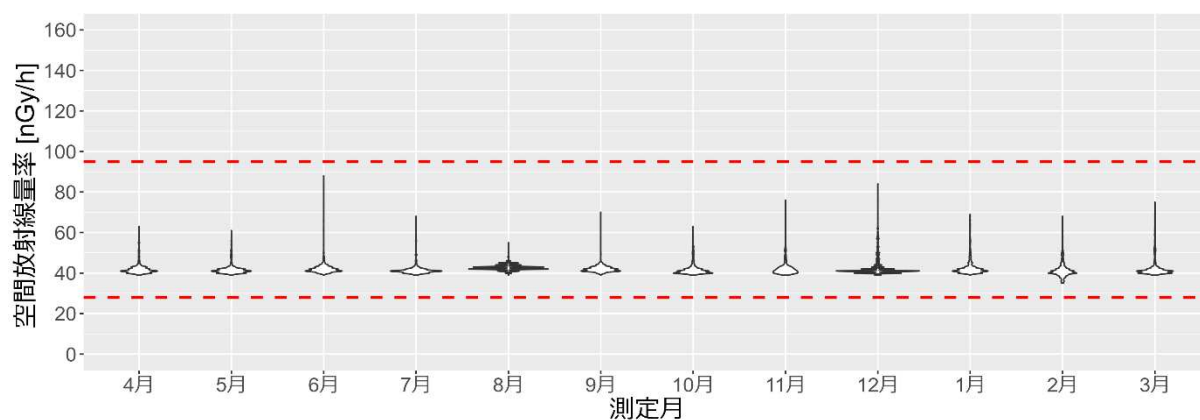


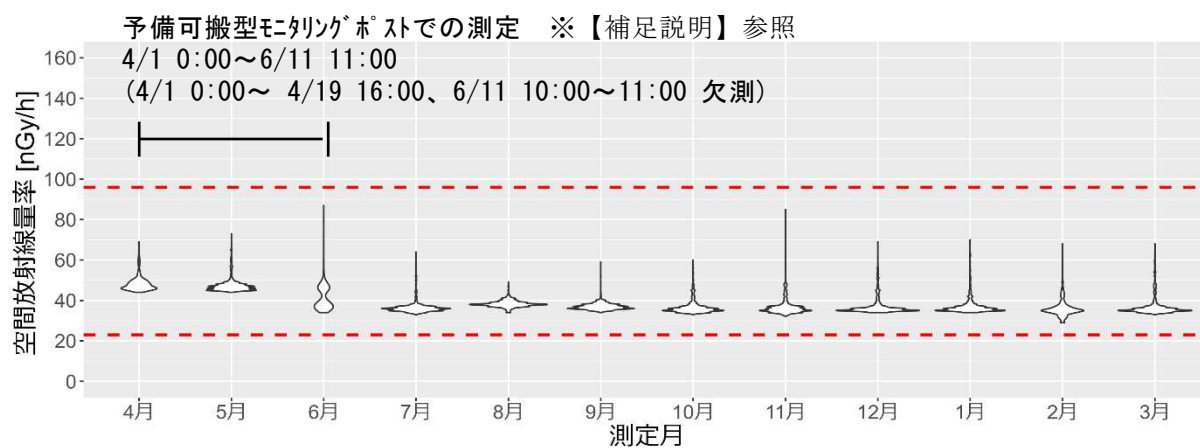
図 I - 3 - 1 b 空間放射線量率連続測定結果 (可搬型モニタリングポスト)



中浜公民館



大篠津公民館



和田公民館

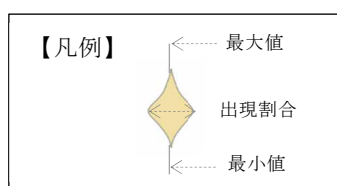
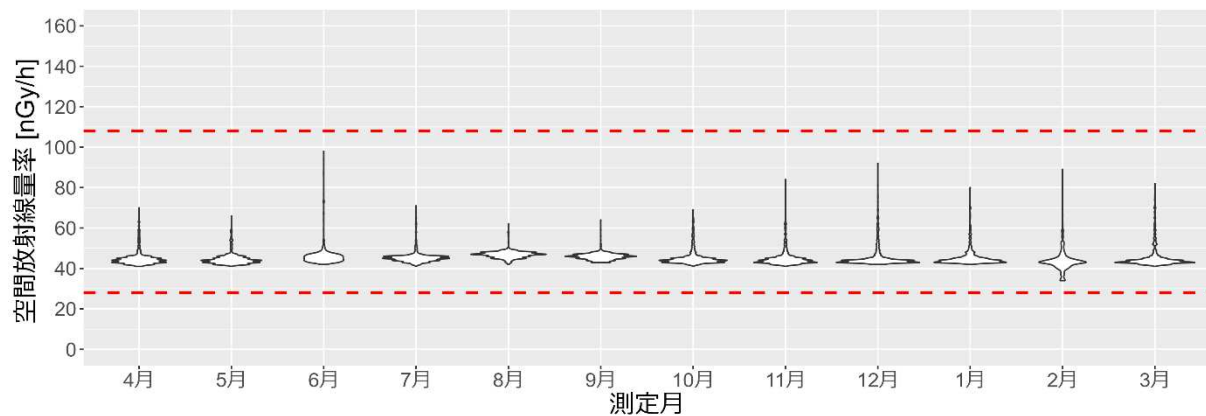
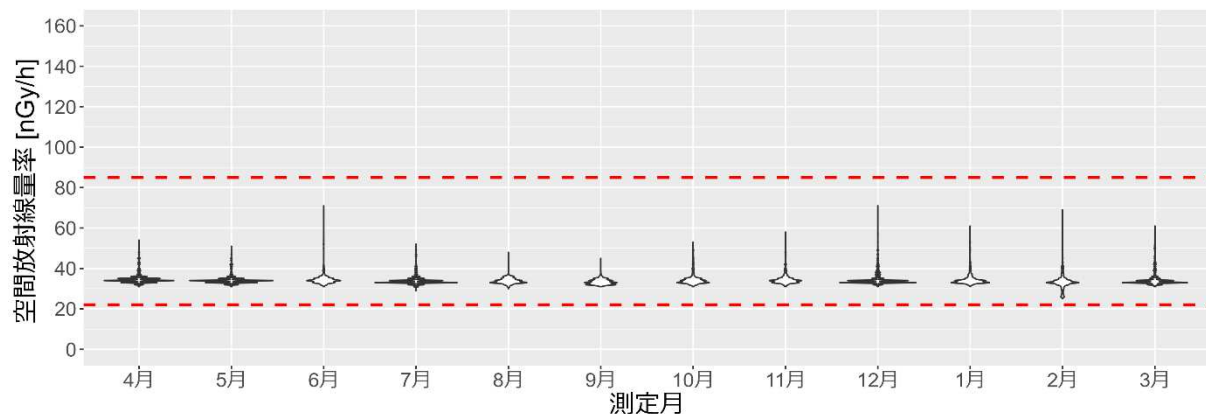


図 I - 3 - 1 c 空間放射線量率連続測定結果（可搬型モニタリングポスト）



夜見公民館



彦名公民館

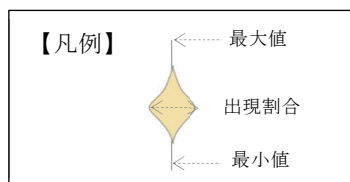


図 I - 3 - 1 d 空間放射線量率連続測定結果（可搬型モニタリングポスト）

【補足説明】既設可搬型 MP と予備可搬型 MP の測定値の違いについて

可搬型 MP は、年 1 回保守点検において校正を実施しており、測定器としての精度は担保している。しかし、可搬型 MP の検出器の下方方向には、自身の送信部やバッテリーなどの遮へい物があり、メーカーの違いによって遮へい物の大きさ等の構造が異なるため、その影響が測定値の違いとして表れると考えられる。

このことから、図 I - 3 - c の 6 月測定結果では、10 nGy/h 程度の差のある 2 つの山になっている。



既設可搬型 MP

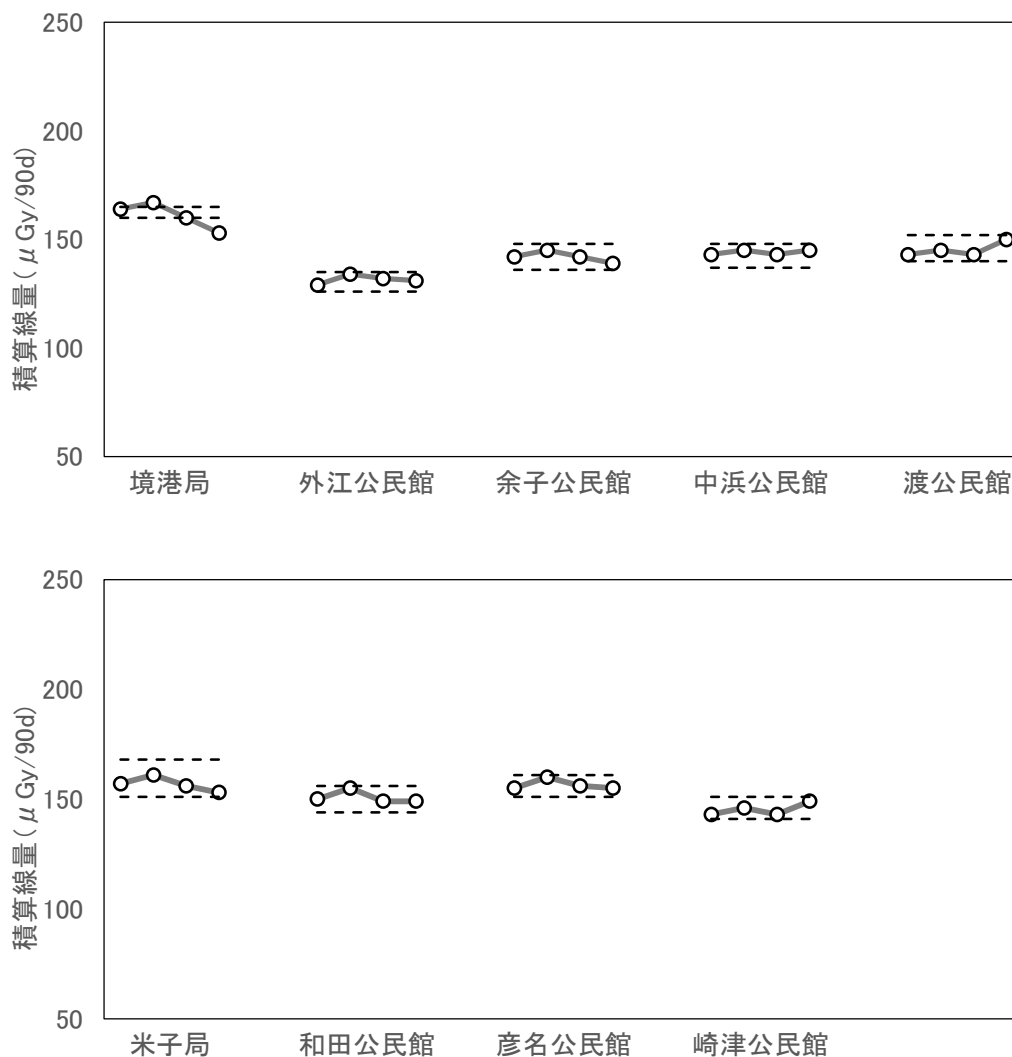


予備可搬型 MP

(イ) 積算線量測定

境港局以外の 8 地点については、平常の変動幅の範囲内であった。

境港局については、第 2 四半期は平常の変動幅の上限を超過し、第 4 四半期は平常の変動幅の下限を下回った。これらの原因については、同局の平常の変動幅は周辺環境の変化があったために令和 5 年度からの実績としておりデータ数が少ないこと、また今期間中に周辺環境の変化は確認されなかったことから、自然変動によるものと考えられた。



注 1 : ○は第 1 ～ 4 四半期の測定結果、点線は平常の変動幅を示す。

図 I - 3 - 2 積算線量の測定結果

イ 大気浮遊じん全 α 及び全 β 放射能の連続測定

米子局及び境港局の大気浮遊じん全 α 放射能並び大気浮遊じん全 β 放射能の連続測定結果は、いずれも平常の変動幅の範囲内であった。

表 I - 3 - 1 大気浮遊じんの全 α 放射能、全 β 放射能の概要

項目	測定地点	最高値	最低値	平常の変動幅	単位
全 α 放射能	境港局	1,431	8	6 ~ 1,671	mBq/m ³
	米子局	1,361	8	5 ~ 1,983	
全 β 放射能	境港局	4,249	23	18 ~ 4,761	
	米子局	4,131	29	18 ~ 5,415	

注1：200L/分で3時間集じん後、3時間測定。

注2：平常の変動幅は、R01～R05年度の5年間の最小値から最大値までの範囲。

ウ 環境試料中の放射性核種

(ア) γ 線スペクトロメトリー

降下物、植物（松葉）、農産物（米）及び海産生物（セイゴ）からCs-137が下記のとおり検出されたが、過去の測定実績と同レベルであり、過去の大気圏内核実験フォールアウト等の影響によるものと考えられた。

米子局で採取した降下物から検出されたCs-137（2月：0.068 MBq/km²、3月：0.099 MBq/km²）は、平常の変動幅の範囲内（ND ~ 0.18 MBq/km²）であった。

米子市と境港市で採取した植物（松葉）から検出されたCs-137（米子市：0.073 Bq/kg、境港市：0.37 Bq/kg）は、いずれも平常の変動幅の範囲内（米子市：0.071 ~ 0.18 Bq/kg、境港市：0.18 ~ 0.79 Bq/kg）であった。

米子市で採取した農産物（米）から検出されたCs-137（0.15 Bq/kg 生）は、平常の変動幅の範囲内（0.13 ~ 0.28 Bq/kg 生）であった。

境港市近海で採取した海産生物（セイゴ）から検出されたCs-137（0.20 Bq/kg 生）は、平常の変動幅を超過（0.10 ~ 0.16 Bq/kg 生）した。海産魚中のCs-137濃度については、大きな魚を摂餌しているスズキ、マダラなどの魚種は高く、このなかでも大型の個体ほど高いことが報告されている¹⁾²⁾。

今回採取したセイゴ（平均体重約1,400 g）は、これまでに採取したセイゴ（平均体重約470 g）と比較して成長した個体だったことが原因の1つと考えられた。なお、全国の環境放射能調査における魚類（スズキ（セイゴ含む））のCs-137測定結果（0.077 ~ 1.1 Bq/kg 生）と比較して、高いレベルではない。

そのほかの分析結果では測定対象物質は検出されなかった。

【参考文献】

- 1) 笠松不二男：海産生物と放射能－特に海産魚類の¹³⁷Cs濃度に影響を与える要因について－, *Radioisotopes*, 48, 266-282 (1999)
- 2) 大久保裕章, 高橋暁美：魚類におけるセシウム-137の濃度について, 令和5年(2023)度福井県原子力環境監視センター所報, 第30巻, 47-54 (2025)

表 I-3-2 γ 線スペクトロメトリーの分析結果の概要

区分	試料数	Mn-54	Fe-59	Co-58	Co-60	I-131	Cs-134	Cs-137	単位
大気	24	ND	ND	ND	ND		ND	ND	mBq/m ³
降下物	24	ND	ND	ND	ND		ND	0.068, 0.099	MBq/km ²
陸水	2	ND	ND	ND	ND		ND	ND	mBq/L
植物	2	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.073, 0.37	Bq/kg 生
土壌	1	ND	ND	ND	ND		ND	ND	Bq/kg 乾土
海水	2	ND	ND	ND	ND		ND	ND	mBq/L
農産物	3	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND, 0.15	Bq/kg 生
海産生物	4	ND	ND	ND	ND	ND	ND	<u>0.20</u>	Bq/kg 生

注：下線は平常の変動幅の範囲外であることを示す。

(イ) トリチウム分析

海水から H-3 は検出されなかった。

陸水（水道水）から H-3 が検出されたが、平常の変動幅の範囲内であった。

表 I-3-3 トリチウム（H-3）の分析結果の概要

区分	試料	境港市上道		米子市河崎		米子市福市		単位
		測定 結果	平常の 変動幅	測定 結果	平常の 変動幅	測定 結果	平常の 変動幅	
陸水	水道水	(令和 8 年度 測定予定)		ND, 0.37	ND ～ 0.37	(令和 7 年度 測定予定)		Bq/L

区分	試料	境港市昭和町		米子市大篠津町		単位
		測定 結果	平常の 変動幅	測定 結果	平常の 変動幅	
海水	海水	(令和 7 年度 測定予定)		ND	ND ～ 0.39	Bq/L

(ウ) 放射化学分析 (Sr-90)

本年度より測定を開始した米子市河崎の陸水（水道水）の Sr-90 測定結果は 0.73, 0.78 mBq/L であった。全国の環境放射能水準調査における蛇口水の Sr-90 測定結果 (ND ～ 2.6 mBq/L) と比較して同レベルであり、過去の核実験フォールアウト等の影響と考えられた。

土壌（グラウンド）の Sr-90 測定結果は、平常の変動幅の範囲内であり、過去の核実験フォールアウト等の影響と考えられた。

表 I - 3 - 4 ストロンチウム (Sr-90) の分析結果の概要

区分	試料	境港市上道		米子市河崎		米子市福市		単位
		測定結果	平常の変動幅	測定結果	平常の変動幅	測定結果	平常の変動幅	
陸水	水道水	(令和 8 年度測定予定)		0.73, 0.78	(R06～)	(令和 7 年度測定予定)		mBq/L

区分	試料	境港市馬場崎町		米子市河崎		単位
		測定結果	平常の変動幅	測定結果	平常の変動幅	
土壌	公園	(令和7年度測定予定)				Bq/kg 乾土
	グラウンド					

(2) 測定項目別の結果

ア 空間放射線

(ア) 空間放射線量率連続測定

表 I－3－5 固定型モニタリングポストの連続測定結果（1 時間値）
(単位：nGy/h)

地点	区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間	平常の変動幅
境港局	最高値	80	77	116	83	75	72	78	82	115	90	95	94	116	145
	最低値	53	53	54	53	54	54	50	49	50	48	43	50	43	34
	平均値	57	57	58	56	59	57	54	54	54	56	53	56	56	—
米子局	最高値	81	74	108	82	67	66	91	90	108	90	103	92	115	122
	最低値	50	50	50	49	50	50	53	51	52	51	42	49	42	37
	平均値	54	53	54	53	54	53	57	57	57	54	52	53	54	—

注1:「平常の変動幅」:前年度までの5年間(R01～R05)の最小値から最大値までの範囲。

表 I－3－6 可搬型モニタリングポストの連続測定結果（1 時間値）
 (単位：nGy/h)

地点	区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間	平常の変動幅
外江 公民館	最高値	47	45	72	49	42	41	62	56	62	55	54	59	72	92
	最低値	28	27	28	28	28	28	28	28	28	27	26	28	26	19
	平均値	30	30	31	30	30	30	31	31	31	31	30	31	31	—
余子 公民館	最高値	58	54	88	65	50	48	65	60	69	65	73	71	88	107
	最低値	33	33	33	33	34	33	32	33	33	33	28	33	28	23
	平均値	36	36	37	36	36	36	36	37	37	37	35	37	36	—
中浜 公民館	最高値	54	50	72	56	46	44	52	61	59	57	53	57	72	79
	最低値	34	34	34	34	35	35	34	34	32	34	32	33	32	26
	平均値	36	36	37	37	37	37	37	36	36	36	36	36	36	—
大篠津 公民館	最高値	63	61	88	68	55	70	63	76	84	69	68	75	88	95
	最低値	39	39	39	39	39	39	39	39	39	39	35	39	35	28
	平均値	42	42	43	42	43	42	42	42	43	43	42	43	42	—
和田 公民館	最高値	—	—	87	64	49	59	60	85	69	70	68	68	87	96
	最低値	—	—	34	33	34	34	33	32	34	34	29	33	29	23
	平均値	—	—	39	37	38	37	37	37	37	37	36	37	37	—
夜見 公民館	最高値	70	66	98	71	62	64	69	84	92	80	89	82	98	108
	最低値	41	41	42	41	42	43	41	41	42	42	34	41	34	28
	平均値	45	45	46	46	47	46	45	45	46	45	44	46	46	—
彦名 公民館	最高値	54	51	71	52	48	45	53	58	71	61	69	61	71	85
	最低値	31	31	31	29	30	31	31	31	31	31	25	31	25	22
	平均値	35	34	35	34	34	33	35	35	35	34	34	35	34	—

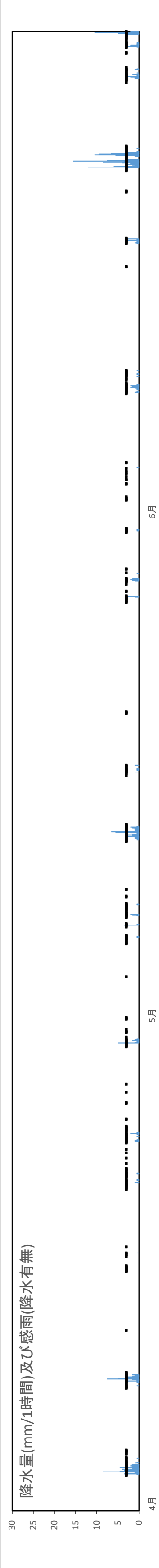
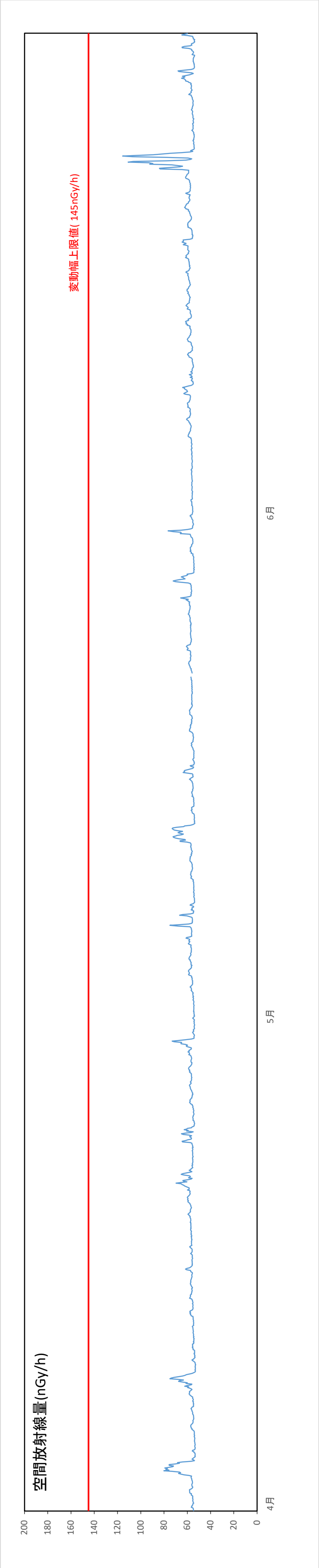
注1:「平常の変動幅」は、各測定地点における前年度までの5年間(R01～R05)の最小値から最大値までの範囲。

注2: 和田公民館は代替測定対応のため、4/1 0時～6/11 11時の期間に
 予備の可搬型モニタリングポストにより補完測定を行った。予備機による測定結果は下表のとおり。

(予備機での測定結果)				
地点	測定期間	最高値	最低値	平均値
和田公民館（予備機）	R6. 4. 19～R6. 6. 11※	73	44	48

※ 4/1～4/19 電源部の不具合により欠測

境港局



米子局

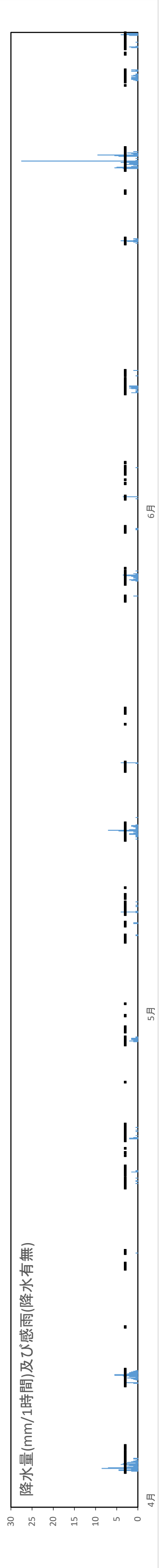
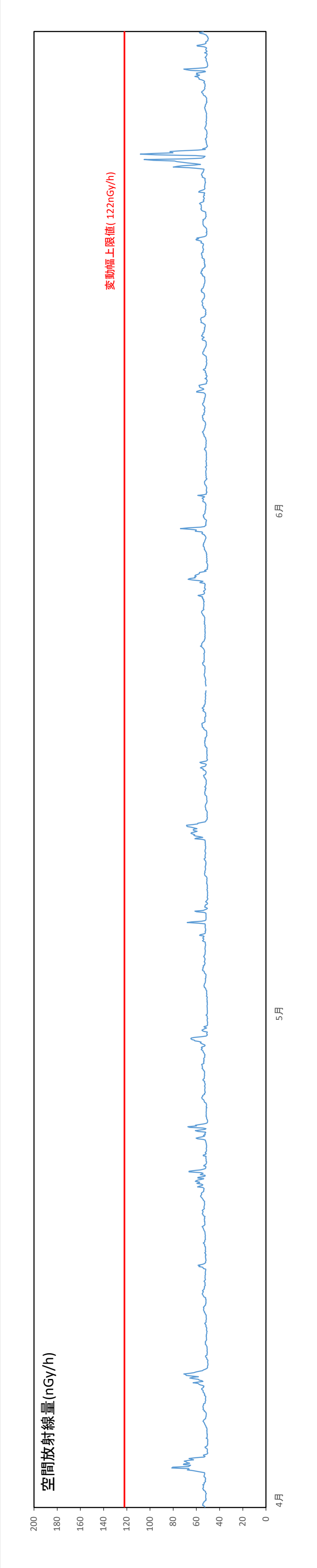
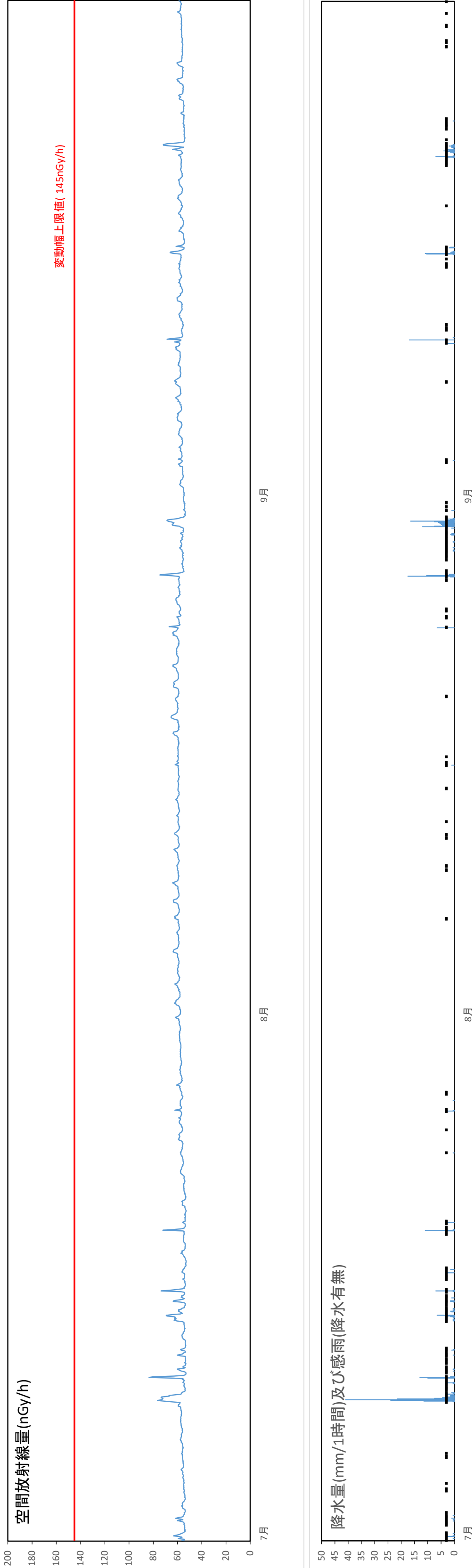


図 I－3－3a 空間放射線量率と降水量の関係(令和6年度第1四半期、1時間値)

境港局



米子局

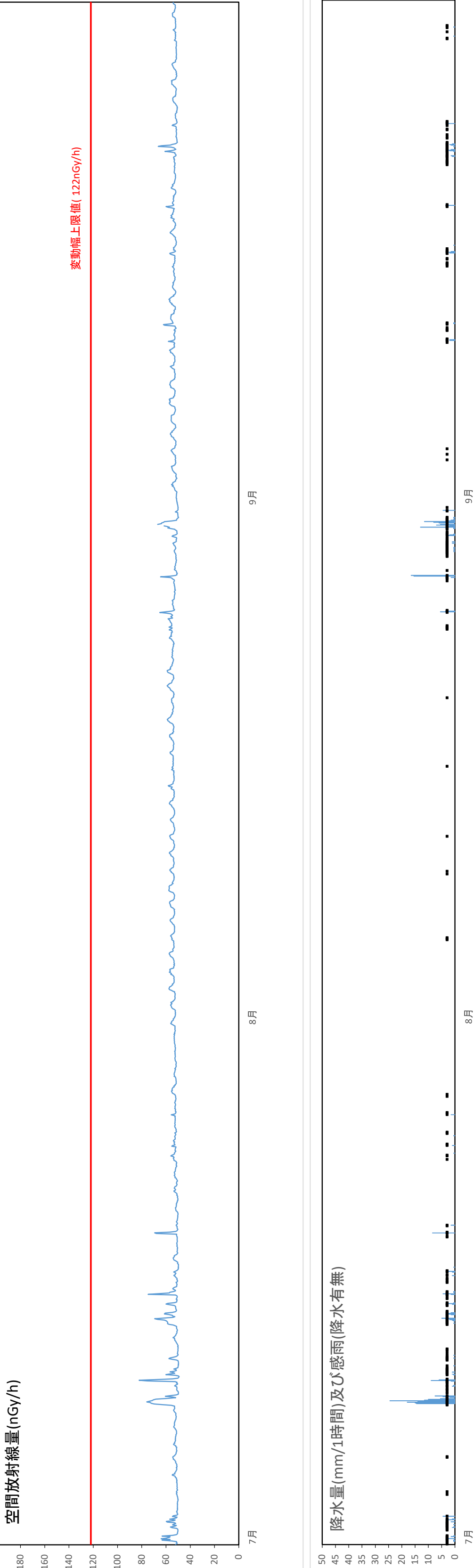
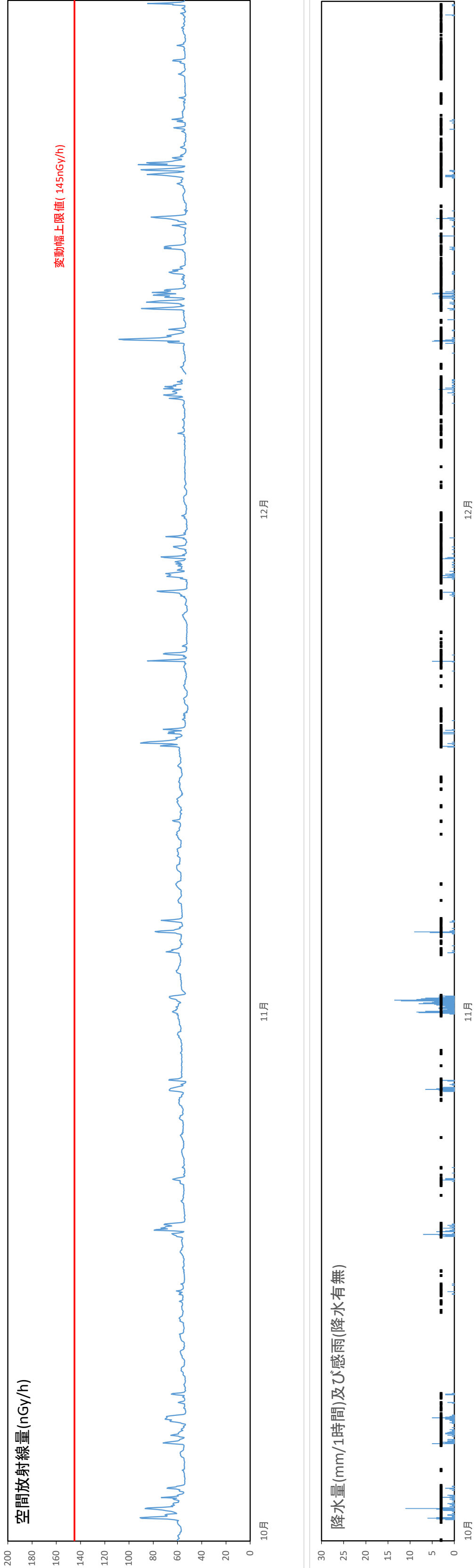


図 I ー3ー3b 空間放射線量率と降水量の関係(令和6年度第2四半期、1時間値)

境港局



米子局

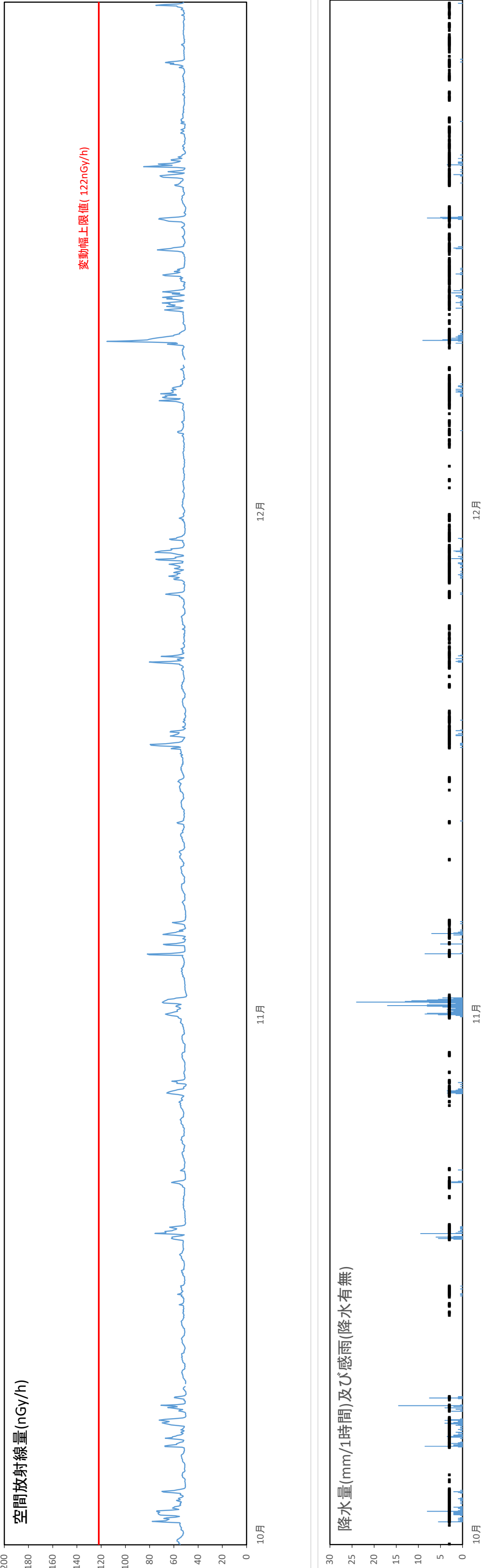
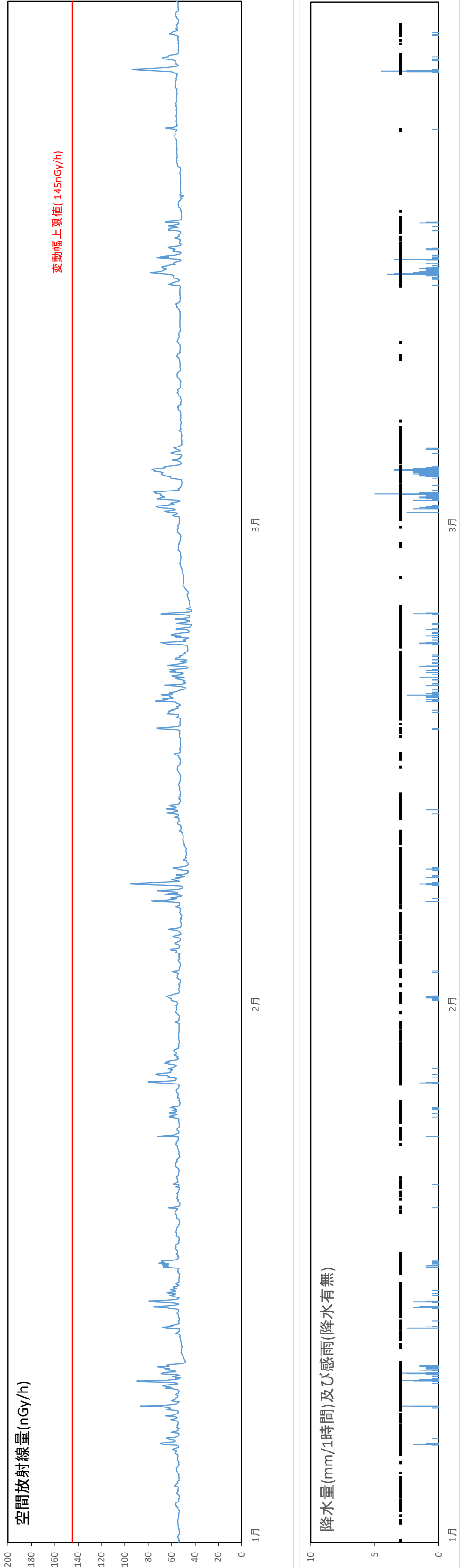


図 I－3－3c 空間放射線量率と降水量の関係(令和6年度第3四半期、1時間値)

境港局



米子局

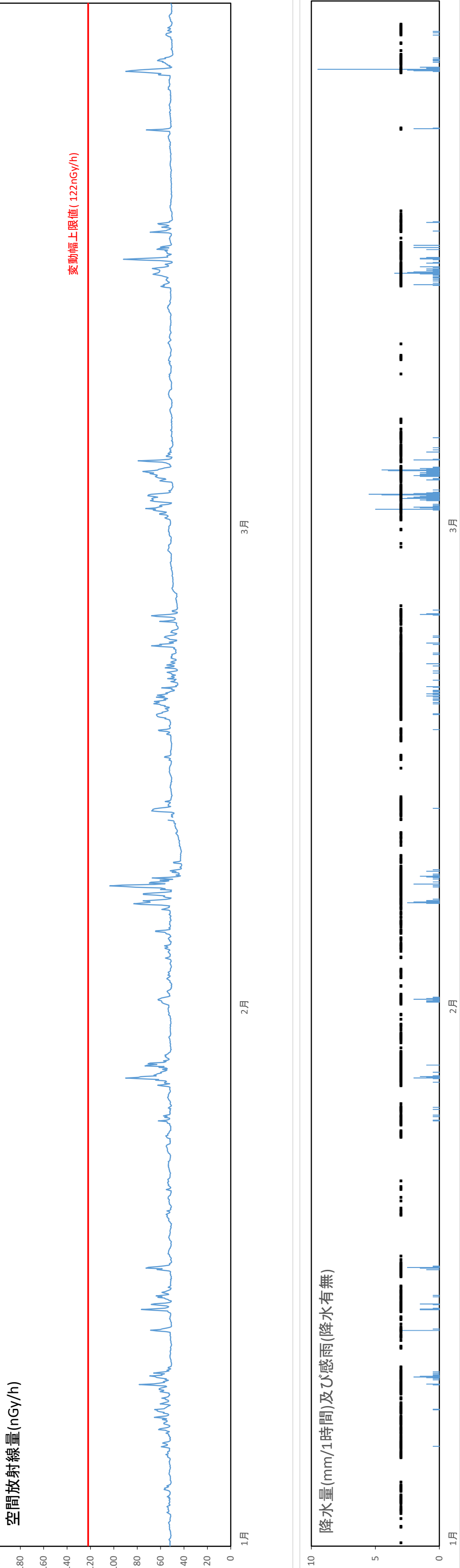


図 I－3－3d 空間放射線量率と降水量の関係(令和6年度第4四半期、1時間値)

(イ)積算線量測定

表 I - 3 - 7 積算線量の測定結果

(単位:上段 $\mu\text{Gy}/90\text{d}$ 、下段 $\mu\text{Gy}/\text{h}$)

測定地点	第1四半期 (4～6月)	第2四半期 (7～9月)	第3四半期 (10～12月)	第4四半期 (1～3月)	平常の変動幅 (暫定値)	年間線量 (mGy/365d)
境港局	164 (0.076)	<u>167</u> <u>(0.077)</u>	160 (0.074)	<u>153</u> <u>(0.071)</u>	160 ～ 165 (0.074 ～ 0.076)	0.65
米子局	157 (0.073)	161 (0.075)	156 (0.072)	153 (0.071)	151 ～ 168 (0.070 ～ 0.078)	0.64
外江公民館	129 (0.060)	134 (0.062)	132 (0.061)	131 (0.061)	126 ～ 135 (0.058 ～ 0.063)	0.53
余子公民館	142 (0.066)	145 (0.067)	142 (0.066)	139 (0.064)	136 ～ 148 (0.063 ～ 0.069)	0.58
中浜公民館	143 (0.066)	145 (0.067)	143 (0.066)	145 (0.067)	137 ～ 148 (0.063 ～ 0.068)	0.58
和田公民館	150 (0.069)	155 (0.072)	149 (0.069)	149 (0.069)	144 ～ 156 (0.067 ～ 0.072)	0.61
彦名公民館	155 (0.072)	160 (0.074)	156 (0.072)	155 (0.072)	151 ～ 161 (0.070 ～ 0.075)	0.63
渡公民館	143 (0.066)	145 (0.067)	143 (0.066)	150 (0.069)	140 ～ 152 (0.065 ～ 0.076)	0.59
崎津公民館	143 (0.066)	146 (0.068)	143 (0.066)	149 (0.069)	141 ～ 151 (0.066 ～ 0.070)	0.59

注1:「平常の変動幅」は、前年度までの10年間の最小値から最大値までの範囲とするが、測定開始から10年経過しないため、暫定値(H28～R05年度)とする。

注2:下段()内の数値は、当該期間における1時間当たりの線量率に換算したもの。

注3:下線部は平常の変動幅の範囲外の結果であることを示す。

イ 大気浮遊じん全 α 及び全 β 放射能の連続測定

表 I - 3 - 8 大気浮遊じんの測定結果

(単位：mBq/m³)

項目	地点	区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間	平常の変動幅
全 α 放射能	境港局	最高値	1,009	1,141	1,369	815	1,431	1,125	1,182	1,248	942	1,237	1,168	1,276	1,431	1,671
		最低値	32	10	21	8	20	27	14	26	24	33	45	21	8	6
		平均値	217	190	275	162	226	270	230	305	211	276	257	276	241	
	米子局	最高値	1,295	1,305	1,235	1,095	1,361	1,276	1,115	1,152	746	1,225	1,113	1,242	1,361	1,983
		最低値	47	12	19	8	13	18	13	19	30	33	14	18	8	5
		平均値	318	247	312	198	304	315	236	291	207	262	220	247	263	
全 β 放射能	境港局	最高値	2,817	3,108	4,178	2,496	4,249	3,145	3,398	3,465	2,622	3,300	3,041	3,390	4,249	4,761
		最低値	89	27	61	23	59	75	40	79	69	89	125	54	23	18
		平均値	639	559	843	503	667	816	663	866	589	757	691	731	693	
	米子局	最高値	3,521	3,668	3,723	3,312	4,131	3,729	3,277	3,547	2,313	3,260	2,783	3,333	4,131	5,415
		最低値	144	38	61	29	40	64	47	65	79	92	39	49	29	18
		平均値	930	729	964	630	927	988	751	908	593	689	624	688	785	
全 β - 全 α	境港局	最高値	3.3	3.4	3.5	3.6	3.4	3.6	3.5	3.4	3.2	3.2	3.0	3.0	3.6	
		最低値	2.6	2.5	2.6	2.7	2.6	2.7	2.5	2.5	2.5	2.4	2.5	2.4	2.4	
		平均値	2.9	2.9	3.0	3.1	2.9	3.0	2.9	2.8	2.8	2.7	2.7	2.7	2.9	
	米子局	最高値	3.3	3.5	3.7	3.7	3.6	3.7	3.7	3.6	3.4	3.1	3.2	3.1	3.7	
		最低値	2.7	2.7	2.8	2.8	2.8	2.8	2.9	2.7	2.4	2.4	2.5	2.6	2.4	
		平均値	2.9	3.0	3.1	3.2	3.1	3.2	3.2	3.1	2.9	2.6	2.9	2.8	3.0	

注1:3時間集じんし、3時間測定。

注2:「平常の変動幅」は、前年度までの5年間(R01～R05年度)の最小から最大値までの範囲。

ウ 環境試料中の放射性核種（ γ 線スペクトロメトリー）
（ア）大気（浮遊じん）

表 I-3-9 大気（浮遊じん）の測定結果

（単位：mBq/m³）

採取地点	採取期間	対象核種							自然放射性核種		平常の変動幅 （暫定値）
		Mn-54	Fe-59	Co-58	Co-60	I-131	Cs-134	Cs-137	Be-7	K-40	Cs-137
境港市上道町（境港局）	4月1日～4月30日	ND	ND	ND	ND		ND	ND	3.6	0.59	ND
	5月1日～5月31日	ND	ND	ND	ND		ND	ND	3.6	0.46	
	6月1日～6月30日	ND	ND	ND	ND		ND	ND	2.6	0.28	
	7月1日～7月31日	ND	ND	ND	ND		ND	ND	1.3	0.41	
	8月1日～8月31日	ND	ND	ND	ND		ND	ND	1.3	0.41	
	9月1日～9月30日	ND	ND	ND	ND		ND	ND	2.4	0.41	
	10月1日～10月31日	ND	ND	ND	ND		ND	ND	3.4	0.39	
	11月1日～11月30日	ND	ND	ND	ND		ND	ND	3.5	0.45	
	12月1日～12月31日	ND	ND	ND	ND		ND	ND	3.3	0.40	
	1月1日～1月31日	ND	ND	ND	ND		ND	ND	3.2	0.42	
	2月1日～2月28日	ND	ND	ND	ND		ND	ND	3.3	0.42	
	3月1日～3月31日	ND	ND	ND	ND		ND	ND	4.0	0.58	
米子市河崎（米子局）	4月1日～4月30日	ND	ND	ND	ND		ND	ND	3.4	0.31	ND ～ 0.010
	5月1日～5月31日	ND	ND	ND	ND		ND	ND	3.5	0.40	
	6月1日～6月30日	ND	ND	ND	ND		ND	ND	2.5	0.31	
	7月1日～7月31日	ND	ND	ND	ND		ND	ND	1.1	0.37	
	8月1日～8月31日	ND	ND	ND	ND		ND	ND	1.4	0.54	
	9月1日～9月30日	ND	ND	ND	ND		ND	ND	2.3	0.50	
	10月1日～10月31日	ND	ND	ND	ND		ND	ND	3.2	0.34	
	11月1日～11月30日	ND	ND	ND	ND		ND	ND	3.3	0.46	
	12月1日～12月31日	ND	ND	ND	ND		ND	ND	3.1	0.44	
	1月1日～1月31日	ND	ND	ND	ND		ND	ND	2.9	0.39	
	2月1日～2月28日	ND	ND	ND	ND		ND	ND	3.0	0.42	
	3月1日～3月31日	ND	ND	ND	ND		ND	ND	3.4	0.38	

注1:NDは検出下限値未満を示す。

注2:H30年度から1ヶ月間の連続採取（H24～29年度は月1回の24時間採取）

注3:「平常の変動幅」は、前年度までの10年間（H26～R05年度）の最小値から最大値までの範囲とする。

(イ) 降下物

表 I－3－10 降下物の測定結果

(単位:MBq/km²)

採取地点	採取期間	対象核種							自然放射性核種		平常の変動幅 (暫定値)
		Mn-54	Fe-59	Co-58	Co-60	I-131	Cs-134	Cs-137	Be-7	K-40	Cs-137
境港市上道町 (境港局)	4月1日～5月1日	ND	ND	ND	ND		ND	ND	99	ND	ND
	5月1日～6月3日	ND	ND	ND	ND		ND	ND	78	ND	
	6月3日～7月1日	ND	ND	ND	ND		ND	ND	77	ND	
	7月1日～8月1日	ND	ND	ND	ND		ND	ND	110	ND	
	8月1日～9月1日	ND	ND	ND	ND		ND	ND	66	ND	
	9月1日～10月1日	ND	ND	ND	ND		ND	ND	32	ND	
	10月1日～11月1日	ND	ND	ND	ND		ND	ND	260	1.7	
	11月1日～12月2日	ND	ND	ND	ND		ND	ND	230	1.9	
	12月2日～1月7日	ND	ND	ND	ND		ND	ND	320	4.1	
	1月7日～2月3日	ND	ND	ND	ND		ND	ND	250	3.5	
	2月3日～3月3日	ND	ND	ND	ND		ND	ND	270	4.0	
	3月3日～4月1日	ND	ND	ND	ND		ND	ND	150	2.9	
米子市河崎 (米子局)	4月1日～5月1日	ND	ND	ND	ND		ND	ND	120	ND	ND～ 0.18 (注3)
	5月1日～6月3日	ND	ND	ND	ND		ND	ND	82	ND	
	6月3日～7月1日	ND	ND	ND	ND		ND	ND	73	ND	
	7月1日～8月1日	ND	ND	ND	ND		ND	ND	110	ND	
	8月1日～9月1日	ND	ND	ND	ND		ND	ND	79	ND	
	9月1日～10月1日	ND	ND	ND	ND		ND	ND	24	ND	
	10月1日～11月1日	ND	ND	ND	ND		ND	ND	240	1.3	
	11月1日～12月2日	ND	ND	ND	ND		ND	ND	270	1.1	
	12月2日～1月7日	ND	ND	ND	ND		ND	ND	290	3.3	
	1月7日～2月3日	ND	ND	ND	ND		ND	ND	160	1.1	
	2月3日～3月3日	ND	ND	ND	ND		ND	0.068	210	0.99	
	3月3日～4月1日	ND	ND	ND	ND		ND	0.099	170	3.8	

注1:NDは検出下限値未満を示す。
注2:「平常の変動幅」は、前年度までの10年間(H26～R05年度)の最小値から最大値までの範囲とする。
注3:米子局はR01年度に採取高を1mから3mに変更したため、「平常の変動幅」は、H29～R05年度に採取高3mで行った結果の最小～最大値を記載した。

(ウ) 陸水

表 I-3-11 陸水の測定結果

(単位:mBq/L)

試料	部位	採取地点	採取年月日	対象核種							自然放射性核種		平常の変動幅
				Mn-54	Fe-59	Co-58	Co-60	I-131	Cs-134	Cs-137	Be-7	K-40	Cs-137
水道水	蛇口水	米子市河崎	R06.05.01	ND	ND	ND	ND		ND	ND	ND	35	ND
			R06.11.01	ND	ND	ND	ND		ND	ND	ND	55	

注1:NDは検出下限値未満を示す。

注2:「平常の変動幅」は、前年度までの10年間(H26～R05年度)の最小値から最大値までの範囲とする。

(エ) 植物

表 I-3-12 植物の測定結果

(単位:Bq/kg生)

試料	部位	採取地点	採取年月日	対象核種							自然放射性核種		平常の変動幅
				Mn-54	Fe-59	Co-58	Co-60	I-131	Cs-134	Cs-137	Be-7	K-40	Cs-137
松葉	二年葉	境港市幸神町	R06.10.15	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.37	14	ND	0.18 ~ 0.79
		米子市夜見町	R06.10.15	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.073	33	49	0.071 ~ 0.18

注1:NDは検出下限値未満を示す。

注2:「平常の変動幅」は、前年度までの10年間(H26～R05年度)の最小値から最大値までの範囲とする。

(オ) 土壌

表 I-3-13 土壌の測定結果

(単位:Bq/kg乾土)

試料	部位	採取地点	採取年月日	対象核種							自然放射性核種		平常の変動幅
				Mn-54	Fe-59	Co-58	Co-60	I-131	Cs-134	Cs-137	Be-7	K-40	Cs-137
グラウンド	表層	米子市河崎	R06.06.20	ND	ND	ND	ND		ND	ND	ND	940	ND

注1:NDは検出下限値未満を示す。

注2:「平常の変動幅」は、前年度までの10年間(H26～R05年度)の最小値から最大値までの範囲とする。

(カ) 海水

表 I-3-14 海水の測定結果

(単位:mBq/L)

試料	部位	採取地点	採取年月日	対象核種							自然放射性核種		平常の変動幅
				Mn-54	Fe-59	Co-58	Co-60	I-131	Cs-134	Cs-137	Be-7	K-40	Cs-137
海水	表層水	米子市大篠津町	R06.05.23	ND	ND	ND	ND		ND	ND	11	170	ND ~ 2.2
			R06.11.21	ND	ND	ND	ND		ND	ND	ND	220	

注1:NDは検出下限値未満を示す。

注2:「平常の変動幅」は、前年度までの10年間(H26～R05年度)の最小値から最大値までの範囲とする。

(キ) 農産物

表 I - 3 - 15 農産物の測定結果

(単位:Bq/kg生)

試料	部位	採取地点	採取年月日	対象核種							自然放射性核種		平常の変動幅
				Mn-54	Fe-59	Co-58	Co-60	I-131	Cs-134	Cs-137	Be-7	K-40	Cs-137
米	精米	米子市夜見町	R06.10.01	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.15	ND	ND	0.13 ~ 0.28
白ネギ	可食部	境港市中海干拓地	R06.12.02	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.19	48	ND
ダイコン	根	境港市中海干拓地	R06.12.09	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	50	ND

注1:NDは検出下限値未満を示す。

注2:「平常の変動幅」は、前年度までの10年間(H26～R05年度)の最小値から最大値までの範囲とする。

注3:米は生産者の変更に伴い、R01年度から採取地点を米子市夜見町の同一地区内の別の圃場に変更した。

(ク) 海産生物

表 I - 3 - 16 海産生物の測定結果

(単位:Bq/kg生)

試料	部位	採取地点	採取年月日	対象核種							自然放射性核種		平常の変動幅
				Mn-54	Fe-59	Co-58	Co-60	I-131	Cs-134	Cs-137	Be-7	K-40	Cs-137
ワカメ	可食部	境港市近海	R06.04.04	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	3.6	260	ND
イワガキ	身		R06.07.17	ND	ND	ND	ND		ND	ND	3.4	76	ND
セイゴ	身		R07.02.17	ND	ND	ND	ND		ND	<u>0.20</u>	ND	120	0.10 ~ 0.16
ナマコ	身		R07.02.13	ND	ND	ND	ND		ND	ND	ND	19	ND

注1:下線部は平常の変動幅の範囲外の結果であることを示す。

注2:NDは検出下限値未満を示す。

注3:「平常の変動幅」は、前年度までの10年間(H26～R05年度)の最小値から最大値までの範囲とする。

エ 環境試料中の放射性核種（トリチウム分析）

表 I-3-17 トリチウムの測定結果

(単位:Bq/L)

区分	試料	部位	採取地点	採取年月日	測定値	平常の変動幅 (暫定値)
陸水	水道水	蛇口水	米子市河崎	R06.05.01	0.37	ND ~ 0.37
				R06.11.01	ND	
海水	海水	表層水	米子市大篠津町	R06.05.23	ND	ND ~ 0.39
				R06.11.21	ND	

注1:NDは検出下限値未満を示す。

注2:「平常の変動幅」は、前年度までの10年間の最小値から最大値までの範囲とするが、測定開始から10年経過しないため、暫定値(H27~R05年度)とする。

オ 環境試料中の放射性核種（ストロンチウム分析）

表 I-3-18 ストロンチウム(Sr-90)の測定結果

区分	試料	部位	採取地点	採取年月日	測定値	平常の変動幅 (暫定値)	単位
陸水	水道水	蛇口水	米子市河崎	R06.05.01	0.73	(R06~)	mBq/L
				R06.11.01	0.78		
土壌	グラウンド	表層	米子市河崎	R06.06.20	0.28	ND ~ 0.47	Bq/kg乾土

注1:NDは検出下限値未満を示す。

注2:「平常の変動幅」は、前年度までの10年間の最小値から最大値までの範囲とするが、測定開始から10年経過しないため、暫定値(土壌:H30~R05年度)とする。

4 令和7年度の平常の変動幅の設定について

令和6年度の測定結果を踏まえ、令和7年度の平常の変動幅を（１）～（３）のとおりに設定する。なお、測定計画の見直しにより、令和5年度までに測定終了となった測定項目の実績については、参考として（４）に示す。

○空間放射線量率連続測定、大気浮遊じん全 α 及び全 β 放射能の連続測定

過去5年間の測定値の最小値から最大値までの範囲とする。

○積算線量測定、環境試料の核種分析

過去10年間の測定値の最小値から最大値までの範囲とする。

（１）空間放射線

ア 空間放射線量率連続測定（固定型モニタリングポスト）

（単位：nGy/h）

測定地点	平常の変動幅		測定開始時(H25)からの測定値	
	最小値から最大値	最大値の発生日時	最小値から最大値	最大値の発生日時
境港局	34 ～ 145	R05.11.18 8:00	34 ～ 145	R05.11.18 8:00
米子局	37 ～ 122	R04.07.19 10:00	34 ～ 146	H27.12.17 21:00

※ 「平常の変動幅」は、前年度までの5年間（R02～R06年度）の最小値から最大値までの範囲とする。

イ 空間放射線量率連続測定（可搬型モニタリングポスト）

（単位：nGy/h）

測定地点	平常の変動幅		測定開始時(H26)からの測定値	
	最小値から最大値	最大値の発生日時	最小値から最大値	最大値の発生日時
外江公民館	19 ～ 92	R05.11.18 08:00	19 ～ 104	H27.12.17 20:00
余子公民館	23 ～ 107	R05.11.13 09:00	21 ～ 107	R05.11.13 09:00
中浜公民館	26 ～ 79	R02.06.25 12:00	26 ～ 99	H27.12.17 21:00
大篠津公民館	28 ～ 95	R05.11.18 7:00	28 ～ 107	H29.01.23 07:00
和田公民館	23 ～ 96	R05.11.18 7:00	23 ～ 111	H27.12.17 21:00
夜見公民館	28 ～ 108	R04.07.19 10:00	28 ～ 135	H27.12.17 21:00
彦名公民館	22 ～ 85	R04.07.19 10:00	22 ～ 99	H27.12.17 21:00

※ 「平常の変動幅」は、前年度までの5年間（R02～R06年度）の最小値から最大値までの範囲とする。

ウ 積算線量測定

(単位： μ Gy/90d)

測定地点	平常の変動幅(暫定値) ^{※1} 測定開始時(H28)からの測定値	
	最小値から最大値	最大値の発生年月
境港局 ^{※2}	153 ～ 167 (150 ～ 188)	R06.7～9 (H28.7～9)
米子局	151 ～ 168	H28.4～6
外江公民館	126 ～ 135	H28.4～6, H28.7～9
余子公民館	136 ～ 148	H28.4～6
中浜公民館	137 ～ 148	R05.10～12
和田公民館	144 ～ 156	H28.4～6, R05.10～12
彦名公民館	151 ～ 161	H28.4～6, H28.7～9, R05.10～12
渡公民館 ^{※3}	140 ～ 152 (140 ～ 165)	R02.1～3 (H28.7～9)
崎津公民館	141 ～ 151	R02.1～3

※1 「平常の変動幅」は、前年度までの10年間の最小値から最大値までの範囲とするが、測定開始から10年経過しないため、暫定値(H28～R06年度)とする。

※2 境港局はH30年度及びR02年度からR04年度にかけて周辺環境変化があったため、R05～R06年度実績とする(参考として、H28～R06年度変動幅を括弧内に記載)。

※3 渡公民館はH29年度に周辺環境変化があったため、H30～R06年度実績とする(参考として、H28～R06年度変動幅を括弧内に記載)。

(2) 大気浮遊じん全 α 及び全 β 放射能の連続測定(固定型モニタリングポスト)

測定地点	全 α 放射能(mBq/m ³)		全 β 放射能(mBq/m ³)	
	平常の変動幅	測定開始からの 最小～最大値	平常の変動幅	測定開始からの 最小～最大値
境港局	6 ～ 1,616 (R05.08.12 08:00)	6 ～ 2,124 (H26.04.16 10:00)	18 ～ 4,729 (R05.08.12 08:00)	18 ～ 5,584 (H30.07.20 08:00)
米子局	5 ～ 1,798 (R04.03.12 11:00)	5 ～ 2,481 (H26.06.02 10:00)	18 ～ 4,800 (R04.11.17 11:00)	17 ～ 5,920 (H30.08.03 08:00)

※ 「平常の変動幅」は、前年度までの5年間(R02～R06年度)の最小から最大値までの範囲とする。

※ 各項目の測定はH26年度から開始した。

※ 数値の下の()は最大値の検出年月日 時刻を示す。

(3) 環境試料中の放射性核種

ア ガンマ線スペクトロメトリー

項目区分/ 試料		部位	採取地点	Cs-137		測定 期間
				平常の変動幅	測定開始からの 最小から最大値	
大気 浮遊じん	—	—	境港市上道町	ND (-)	ND (-)	mBq/m ³ H24～ R06
			米子市河崎	ND ～ 0.010 (R03.12)	ND ～ 0.010 (R03.12)	
降下物	—	—	境港市上道町	ND (-)	ND (-)	H25～ R06
			米子市河崎	ND ～ 0.18 (H30.3)	ND ～ 0.18 (H30.3)	H29～ R06
陸 水	水道水	蛇口水	境港市上道町	ND (-)	ND (-)	mBq/L H24～ R06
			米子市河崎	ND (-)	ND (-)	
		原水	米子市福市	ND (-)	ND (-)	
植 物	松葉	二年葉	境港市幸神町	0.18 ～ 0.79 (R03.10)	0.16 ～ 0.79 (R03.10)	Bq/kg 生 H24～ R06
			米子市夜見町	0.071 ～ 0.18 (R04.10)	0.050 ～ 0.18 (R04.10)	
土 壌	公園	表層	境港市馬場崎町	ND (-)	ND (-)	Bq/kg 乾土 H24～ R06
	グラウンド		米子市河崎	ND (-)	ND (-)	
海水	—	表層水	米子市昭和町 (美保湾)	ND (-)	ND (-)	R05
			米子市大篠津町 地先(美保湾)	ND ～ 2.1 (R01.11)	ND ～ 2.2 (H25.12)	H24～ R06
農 産 物	米	精米	米子市夜見町	0.13 ～ 0.22 (H30.10)	0.13 ～ 0.28 (H26.10)	H26～ R06
	白ネギ	可食部	境港市中海干拓地	ND (-)	ND (-)	Bq/kg 生 H25～ R06
	ダイコン	根	境港市中海干拓地	ND (-)	ND (-)	
海 産 生 物	ワカメ	可食部	境港市近海	ND (-)	ND (-)	Bq/kg 生 H26～ R06
	イワガキ	身		ND (-)	ND (-)	
	セイゴ	身		0.10 ～ 0.20 (R07.02)	0.10 ～ 0.20 (R07.02)	H26～ R06
	ナマコ	身		ND (-)	ND (-)	H25～ R06

※ 「平常の変動幅」は、前年度までの10年間の最小から最大値までの範囲とする。

※ 測定開始から10年経過しない項目は暫定値とする。

※ 数値の下の()は最大値の採取年月を示す。

イ トリチウム分析

項目区分/ 試料		部位	採取地点	H-3			測定期間
				平常の変動幅 (暫定値)	単位	最大値の 採取年月	
陸 水	水道水	蛇口水	境港市上道町	ND ～ 0.47	Bq/L	H27.05	H27～R06
			米子市河崎	ND ～ 0.37		H28.05, R06.05	
		原水	米子市福市	ND		—	
海水	表層水		米子市大篠津町地先 (美保湾)	ND ～ 0.39		H27.11	H27～R06
			境港市昭和町 (美保湾)	0.14 ～ 0.18		R05.06	R05

※ 海水（境港市昭和町）の「平常の変動幅」は、測定開始から10年経過しないため、暫定値とする。

ウ 放射化学分析（ストロンチウム）

項目区分/ 試料		部位	採取地点	Sr-90			測定期間
				平常の変動幅 (暫定値)	単位	最大値の 採取年月	
陸 水	水道水	蛇口水	境港市上道町	1.0 ～ 1.1	mBq/L	R05.06	R05～R06
			米子市河崎	0.73 ～ 0.78		R06.11	
土 壌	公園	表層	境港市馬場崎町	0.30 ～ 0.43	Bq/kg	R03.07	H30～R06
	グラウンド		米子市河崎	ND ～ 0.47	乾土	R01.07	

※ 「平常の変動幅」は、各地点における10年間の最小から最大値までの範囲とするが、測定開始から10年間のデータがないため、暫定値とする。

エ 放射化学分析（プルトニウム）

項目区分/ 試料		部位	採取地点	Pu-238	Pu-239+240	単位	採取年月
土 壌	公園	表層	境港市馬場崎町	ND	ND	Bq/kg 乾土	R01.07
	グラウンド		米子市河崎	ND	0.029		
	公園	下層	境港市馬場崎町	ND	ND		
	グラウンド		米子市河崎	ND	0.027		

※ 「平常時モニタリングについて（原子力災害対策指針補足参考資料）、平成30年4月、原子力規制庁監視情報課」に基づき、実施範囲全域において最低1回の調査を行ったもの。

(4) 令和5年度までに測定終了した測定項目【参考】

ア 環境試料中の放射性核種（γ線スペクトロメトリ）

項目区分/ 試料		部位	採取地点	Cs-137			測定 期間
				測定開始からの 最小から最大値	単位	最大値の 採取年月	
陸水	池水	表層水	境港市小篠津町	ND	mBq/L	—	H24～R04
土壌	公園	下層	境港市馬場崎町	ND	Bq/kg 乾土	—	H24～R04
	グラウンド		米子市河崎	1.6		H24.7	
海水		表層水	米子市葭津地先 (中海)	ND	mBq/L	—	H24～R04
海底土		表層	米子市葭津地先	ND ～ 8.0	Bq/kg 乾土	H25.10	H24～R04
		底質	米子市大篠津町地先	ND ～ 0.90		R02.11	
農産物	ダイコン	葉	境港市中海干拓地	ND	Bq/kg 生	—	H25～R04
	牛乳	原乳	米子市和田町	ND	Bq/L	—	H25～R01

イ 環境試料中の放射性核種（トリチウム分析）

項目区分/ 試料		部位	採取地点	H-3			測定期間
				測定開始からの 最小から最大値	単位	最大値の 採取年月	
陸水	池水	表層水	境港市小篠津町	ND ～ 0.69	Bq/L	H27.11	H27～R04
海水		表層水	米子市葭津地先 (中海)	ND ～ 0.48		H27.10	H27～R04

ウ 環境試料中の放射性核種（放射化学分析（ストロンチウム））

項目区分/ 試料		部位	採取地点	Sr-90			測定期間
				測定開始からの 最小から最大値	単位	最大値の 採取年月	
土壌	公園	下層	境港市馬場崎町	0.31 ～ 0.45	Bq/kg 乾土	R04.07	H30～R04
	グラウンド		米子市河崎	0.23 ～ 0.45		R01.07	
農産物	白ネギ	可食部	境港市中海干拓地	0.013 ～ 0.025	Bq/kg 生	R04.12	R01～R05